



B€theONE Sports News

“かけがえのない存在”たれ!

B€the ONE 羽衣国際大学
HAGOROMO University of International Studies

現代社会学部 現代社会学科
放送・メディア映像学科
人間生活学部 人間生活学科
食物栄養学科

〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町1-89-1
TEL 072-265-7000 FAX 072-265-7005
https://www.hagoromo.ac.jp/

はごろもこくさい 検索

【大会成績】

◆令和5年度関西学生春季リーグ戦

▽男子3部[竹内、野間、伊藤、生野]

Bリーグ ○5-0 和歌山大
○5-0 大阪教育大
○3-2 大阪公立大

3部上位 ○5-0 神戸大
○3-2 追手門学院大

〈最終順位 3部1位〉

▽男子2部・3部入替戦

○3-1 京都大

★2部昇格

▽女子2部[市橋、近藤、柏瀬、山口、山川]

Bリーグ ○3-2 園田学園女大
●1-4 武庫川女大
○5-0 神戸大

2部上位 ●2-3 天理大
○3-0 大阪体育大

〈最終順位 2部3位〉



女子2部3位

上位2校とは紙一重か

関西学生春季リーグ戦



男子3部優勝

入替戦勝利、秋季2部へ



伊藤主将

勝ちで3部優勝を決めた。

女子は新戦力・1年生の近藤と柏瀬の活躍が大きく、今季は3勝し、3位に食い込んだ。武庫川女子大、天理大には惜しくも敗れたが、今後を期待を抱かせる試合内容であった。

男子しぶとく3部優勝

男子は初戦、第2戦と気を引き締め、失ポイントを出さず、勝負どころの大阪公立大戦に臨んだ。ファイナルゲームが3試合の紙一重の実力伯仲の試合は2-2となり、最後は第3シンドルスの伊藤キャプテンに勝利を託し、ストレート勝ちで3勝目をあげた。

第4戦の神戸大にもポイントを許さず、優勝を懸けて追手門学院大との対戦となった。

第2シンドルスと第1ダブルスをとり、王手をかけたが、羽衣学園中OBの勝丸のダブルスに生野・野間組がファイナルゲームで敗れ、勝負は再び第3シンドルスの伊藤キャプテンに。連続試合オーダーで臨んできた勝丸に中盤までは競り合うが、ゲーム終盤をしっかりと締め、ストレート勝ちで3部優勝を決めた。

女子は新戦力・1年生の近藤と柏瀬の活躍が大きく、今季は3勝し、3位に食い込んだ。武庫川女子大、天理大には惜しくも敗れたが、今後を期待を抱かせる試合内容であった。



伊藤主将

第1ダブルスの伊藤・竹内組はファイナルゲームに持ち込むが18点で敗れる。流れが京都大に傾きそうになるが、第2ダブルスの生野・野間組は元気さと攻撃的なプレーで相手を圧倒。ストレートで勝ち、2部昇格を決めた。

男女とも、秋季リーグは2部での対戦となります。



生野・野間組

男子入替戦快勝

2部昇格を懸けて京都大と入替戦を戦った。第1シンドルスの竹内はストレート、第2シンドルスの野間がファイナルゲーム19点で競り勝ち、2-0と勝利に王手をかける。

期待の新生、女子5名・男子8名が入部

- 【人間生活学部】
人間生活学科
食クリエイティブコース
大城 大樹、山川 瞳
住空間デザインコース
高野 碧斗
食物栄養学科
新保 龍馬、中野 智保、吉村 亮佑
- 【現代社会学部】
現代社会学科
スポーツコース
板谷直弥、小川麻衣、柏瀬倫佳
近藤 ももな、谷 優志、田村 悦希
経済・経営コース
森田 悠一郎

大学公認
バドミントン
クラブ
Instagram

試合や練習、クラブの日常を更新しています。

準決勝は四天王寺高の米本・梶川組と対戦。第1ゲームは一進一退の攻防から延長になり近藤・柏瀬組が21点を先に取るものの惜しいミスが続き21-23で失う。

第2ゲームは中盤で相手の動きを崩し、連続得点で18-13とリードするもののラリーが単調になり簡単なミスも増え、米本・梶川組に19-17から4連続でポイントを許し、残念ながら決勝進出はできません。

しかし、初めての大阪総合選手権での3位は今後に大きな期待が持てる成果であるとともに、羽衣国際大学にとっても過去最高位の



1年生・近藤が群馬県国体代表に

近藤ももな(現代社会学科1年/群馬県・共愛学園高校出身)が、7月7-9日に埼玉県久喜市で行われる特別国民体育大会・関東ブロック予選に群馬県代表として出場します。

女子ダブルスでベスト16入りを果たした近藤・柏瀬組は相手の棄権によりベスト8に進出。準々決勝は近畿大の山岸・桑田組との対戦。第1ゲームは取られたが、2、3ゲームは攻撃しながら我慢のラリーを重ね、2-1で準決勝へ進出した。



大阪総合選手権 女子ダブルス近藤・柏瀬組3位

男子ダブルス伊藤・竹内組&女子シングルス近藤ベスト8

成績を収めた。男子ダブルスでは伊藤・竹内組がベスト16で、春季リーグ戦で敗れている西出・吉田組(大阪公立大)と対戦。第1ゲームは先手を取り、ペースを渡さず先制。第2ゲームは競り合いながらも終盤に落ち着いたラリーでリードし18点で勝ち、ベスト8進出を決めた。

準々決勝は関西大の増井・瀬古組と対戦。良いラリーはするものの、連続得点が多くなかなか奪えず、ストレートで敗れた。

女子シングルス第2シンドルの玉木(四天王寺高)と対戦した近藤は得意のカットショットでエースを奪うも、相手の巧みな配球とフェイントの効いたショットで揺さぶられ、リードを奪えずストレートで敗退。ベスト8に終わった。

関西学生女子駅伝へ

心をつなごう

女子駅伝部



関西インカレ 800m&1500m出場
中澤 麻友 (食物栄養学科3年)

9月23日に行われる全日本大学女子駅伝の関西地区予選に向けて、春シーズンは基礎づくりを中心にトレーニングを行っています。ロードにおける反発を活かせる筋力づくり、不安定なウッドチップコースを使ったバランスの良いランニングフォーム、走りの粘りを作るために走っている間の心拍数をモニターしてランニング強度を設定します。学生個々の特性に合わせ、その日の体調に合わせてトレーニングを行っています。



関西インカレ 1500m出場
木村 心咲 (食物栄養学科2年)

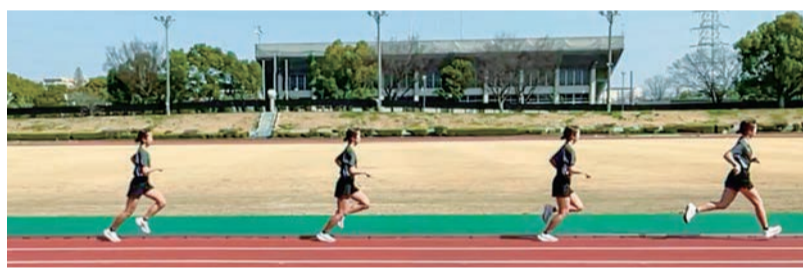


大学のトレーニンググループで走りの粘りをつけるためにスパーサーキットを行っています。エクササイズ(筋力)十有酸素運動を30秒で交互に行うトレーニングで、心肺機能や全身の筋力を高めるには効果的なトレーニングです。

粘れる体づくり!

大学近くの浜寺公園にはウッドチップのコースがあります。木屑を敷き詰めたウッドチップコースは不安定で走りにくいですが、フォーム作りには最適なコースです。また、衝撃を

素晴らしい環境に感謝!



走る動作を分析して効率の良い走りの獲得を目指しています。

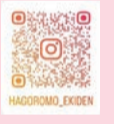
効率の良い走りを作ります!

吸収してくれるので走り込んでも怪我が少ないという利点もあります。



関西インカレ 5000m出場
奥澤 虹雨 (食物栄養学科2年)

大学公認
女子駅伝部
インスタグラム
試合や練習、
クラブの日常を
更新しています。



自己新記録、シーズンベスト記録：日々の練習が少しずつ成長と成果につながっています。

更新しています。

【評】風が強く、気温が高い状況で粘りの走りを見せてくれました。シーズンに入り、自己記録を1500mで約8秒、3000mで3秒02、更新しています。

【評】シーズン当初より調子が悪く、思ったほど記録は出ていませんが、練習はしっかりと積んでいるので、秋シーズンは期待ができると思います。

- ◆大会成績
- ◆大阪学生対校選手権
 - ▽800m(タイムレース決勝)
 - ◎岩本 2分26秒71 ◎河本 2分29秒91
 - ▽1500m
 - ①中澤 4分42秒70 ②進藤 4分55秒51
 - ③木村 5分04秒75
 - ▽5000m
 - ①奥澤 18分10秒10 ②小谷 18分50秒94
 - ◆大阪陸上競技記録会
 - ▽1500m / 中澤 4分48秒61、奥澤 4分50秒07 (自己新記録)、木村 5分01秒73、岩本 4分55秒93、進藤 4分56秒07、小谷 5分03秒11、河本 5分04秒33
 - ◆和歌山陸上競技協会記録会
 - ▽800m / 中澤 2分21秒58、岩本 2分27秒21、木村 2分27秒88、河本 2分30秒00
 - ▽3000m / 奥澤 10分18秒11 (自己新記録)、小谷 10分40秒12、進藤 10分47秒20
 - ◆センコーチャレンジ
 - ▽1500m / 小谷 5分03秒66、河本 5分14秒35、進藤 4分57秒39、岩本 4分59秒96
 - ▽3000m / 木村 10分38秒11
 - ▽5000m / 中澤 17分53秒07 (自己新記録)、奥澤 18分03秒14 (今季自己ベスト)
 - ◆強化・普及記録会(奈良県)
 - ▽1500m / 岩本 4分58秒40、木村 5分02秒20、河本 5分09秒47
 - ▽3000m / 奥澤 10分26秒60、進藤 10分37秒75 (今季自己ベスト)、小谷 10分42秒18
 - ◆京都産業大学長距離競技会
 - ▽800m / 木村 2分29秒43
 - ▽1500m / 奥澤 4分46秒24 (自己新記録)、河本 5分03秒72
 - ▽5000m / 進藤 18分24秒73
 - ◆関西学生対校選手権
 - 中澤 800m予選 2分20秒86 (今季自己ベスト)、1500m予選 4分46秒02

強化クラブの方針 強化クラブは ONE TEAM !

羽衣学園の建学の精神	「愛真教育」を基盤とした「自由・自主・自律・個性尊重の人間教育」を通して、社会に有為な人材を育成する
羽衣国際大学の使命・目的	これからの共生社会において主体的に行動する実践的職業人の育成
強化クラブの使命	文武不岐*の実践により人間力を高める
強化クラブの育成する人材像	かけがえのない存在として、社会や地域に貢献できる人材
強化クラブ生としての心得	羽衣国際大学の模範的な学生となるように心がける 日々の学業に勤しみ、競技面で目標を仲間と共有し、自身の成長につなげる 自身の活動に関するさまざまな環境面を理解し、大学の発展に貢献する
入部者に求めること	何事に対しても、真摯に取り組める人 羽衣国際大学で自己の成長を強く求める人 他の学生の模範となるよう努力できる人
※文武不岐とは	文と武は、それぞれ別のものでなく、鍛錬し追求する事で相乗効果が生まれ深まりを増す。学生生活でのさまざまな学修と強化クラブでの活動を通して自身を鍛えるとともに社会で生き抜く為に必要な人間力を養う。

強化クラブ 結束会開催

硬式野球部、女子ソフトボール部、女子駅伝部、バドミントンクラブ

2023年4月3日(月)、強化クラブの結束会を開催しました。結束会の目的は、「強化クラブ所属学生としての責任と自覚を持ち、強化クラブの方針である文武不岐を全うするという意識の涵養」です。

結束会では、中川恵学長、同窓会「美羽会」会長・花川賀美様、教育後援会会長・谷川央様から激励のお言葉を頂きました。

各クラブの監督及び学生代表者からは、現在の活動状況、今年度の目標と抱負と共に、応援して下さる方々への感謝の想いが語られました。

2023年4月3日(月)、強化クラブの結束会を開催しました。結束会の目的は、「強化クラブ所属学生としての責任と自覚を持ち、強化クラブの方針である文武不岐を全うするという意識の涵養」です。

結束会では、中川恵学長、同窓会「美羽会」会長・花川賀美様、教育後援会会長・谷川央様から激励のお言葉を頂きました。

各クラブの監督及び学生代表者からは、現在の活動状況、今年度の目標と抱負と共に、応援して下さる方々への感謝の想いが語られました。

続いて、スポーツ振興課課長より、強化クラブの方針や強化クラブの人材育成方法についての説明がありました。強化クラブの方針は、「文武不岐の実践により人間力を高める」と、「学業」「競技」「人間力」「就職」「安全・安心」という5つの柱を立て、様々な取り組みを行っています。

強化クラブの方針は、「文武不岐の実践により人間力を高める」と、「学業」「競技」「人間力」「就職」「安全・安心」という5つの柱を立て、様々な取り組みを行っています。

女子ソフトボール部

新しい出発!!



大阪総合予選に出場した4年生

副将 後藤 万結

私は本大会に出場することができ、本当に嬉しかったです。後輩一人一人が本大会の為に日々努力する姿をグラウンドで見ることができました。いろんな面において、迷惑をかけたと思います。が、何一つ文句を言わず私たち4年生のために全力でソフトボールと向き合い、そして努力してくれたことを本当に感謝しています。加えて本大会に出場する



後藤 万結

ためにたくさんの方に協力して頂きました。本当にありがとうございました。感謝の気持ちを忘れずこれからも日々何事にも努力してまいります。今大会でいい結果を残すことはできませんでしたが、今大会の経験を糧に、新チームが今以上に強くなってくれることを願っています。

総合女子選手権大阪府予選で新たな一歩を刻む

明るく、元気に、懸命に チームのためにプレー!

2023年度、初めての公式戦となった第75回総合女子選手権大阪府予選。4月に新入生6名が入部してくれ、出場可能となった今大会でした。

対戦相手は、関西女子リーグの強豪・太成学院大学。随所に素晴らしいプレーがあったものの結果は残念なものとなりました(羽衣国際大学0-10太成学院大学)。

それでも、選手それぞれが最後まで明るく、元気に、懸命にプレーしていたのが印象的でした。

西川 さくら

今大会を終え、現役生活を終了しました。4年間、様々なことがありましたが、最後までソフトボールができたのは今まで応援が支えて下さった方々のおかげです。また、4年生の人数が少なく、大変な状況の中でも、一緒にソフトボールをしてくれた後輩たち、4人という少ない人数ではありましたが、最後まで一緒に頑張ってきた同期にはとても感謝しています。部活動を通して、これから社会人として生きていくためにたくさんの方を学べることができました。学んだことを発揮することでお世話になった方々に恩返し



西川 さくら

杉本 契

入学からこれまでのソフトボール生活を通して、たくさんの方々に出会い、支えられ、無事に引退を迎えることができました。ソフトボールの技術はもちろん、勉強やアルバイトとの両立など、悩むことが多く、決して楽しいだけの日々ではありませんでしたが、それゆえに学ぶことも多く、

自身成長とやりがいを感じることで、これまで一番ソフトボールに夢中になった3年間でした。最後の大阪総合予選では、入部して間もない1年生に支えられ、とても心に残るものになりました。未熟だった私を親身に支えてくださった監督やマネージャー、先輩や同級生、後輩のみんなには本当に感謝しています。また、いつも陰ながらソフトボール部を支援していただいている大学関係の皆さまにも心から感謝しております。本当にありがとうございました。



杉本 契



進んで参ります! チーム一丸となって頑張ります。応援をよろしくお願いします。

ソフトボールを楽しみ、全員が活躍し、勝利を分かち合えるチームを目指し、精進して参ります!

副将 菅野美樹 (3年生/写真右)

新キャプテンの抱負

HAGOROMO sports × UNIVAS

本学は、一般社団法人大学スポーツ協会(以下UNIVAS)に加盟しています。UNIVASは、大学スポーツの振興と大学スポーツ参画人口の拡大を組織理念として、2019年3月に設立されました。本学は、設立当初から加盟し、UNIVASが提供する研修や各種プログラムを活用しながら、本学のスポーツ振興並びにスポーツを活用した人材育成に取り組んでいます。



〈UNIVASの活用〉

4年間で身につけてほしい人間力を育成するために、UNIVASのデュアルキャリアプログラムを活用しています。

〈安全安心な活動のために〉



本学は、UNIVASの安全安心認証制度「UNIVAS SSC (UNIVAS SAFETY AND SECURITY CERTIFICATION)」の承認を受け(全国の大学で4番目に承認)、安全に安心してスポーツに取り組む環境を整えています。

UNIVAS AWARDS 2022-23 最優秀賞受賞

2023年3月6日、ザ・プリンスパークタワー東京において「UNIVAS AWARDS 2022-23」の表彰式が開催されました。学修支援に関する優秀取り組みを表彰するKEIアドバンス賞において、本学の「羽衣学生アスリートGPA向上プラン(AGP)」が最優秀賞を受賞しました。同プランは、①入学前から大学での学びへの動機づけ、②取得単位による活動制限、③GPA目標設定および学科教員とスポーツ指導者の連携による学修支援、④GPA伸び率による表彰制度、⑤卒業前成績優秀者表彰一が主な取り組みです。表彰式の様子は、UNIVAS公式サイトのアーカイブ配信でご視聴いただけます。(本学の表彰は1:22:48~1:31:23です)



UNIVAS AWARDS 2022-23
KEIアドバンス賞「学修支援に関する優秀取組賞」
最優秀賞
羽衣国際大学 硬式野球部 女子ソフトボール部
女子駅伝部 バドミントンクラブ
羽衣学生アスリートGPA向上プラン(AGP)



新入生紹介

初心を忘れず、思いっきりプレーしていきます!!



石田 凜音 田中 愛海 寺崎 夏未
大江 梓月 上野 優希 高山 まりな

1年生石田が国体宮崎県強化選手に指定

1年生の石田凜音(日南学園高校出身)が、2023年度特別国民体育大会の宮崎県強化選手に指定されました。8月9日~8月17日まで、宮崎県日南市で行われる九州ブロック大会成年女子ソフトボール競技強化合宿に参加します。



大学公認 女子ソフトボール部 インスタグラム
試合や練習、クラブの日常を更新しています。



近畿学生野球連盟

春季リーグⅢ部4位

硬式野球部



2023年5月新体制スタート

守備力の弱さが露呈

【評】2023年度の春季リーグ戦は開幕から4連敗を喫し、第3節を迎えた時点で自力優勝がなくなる展開となった。



北山 勝規(4年)

最終戦を終えて、対戦成績は2勝5敗1分で4位となり、勝率は2割8分6厘。過去で最も勝率の低いシーズンとなった。5敗した試合はすべて先制点を許し、序盤から主導権を握られる展開になり、打線も焦りを隠せず、攻撃のリズムをつくることのできなかった。

Table with league ranking history from 2017 to 2023, including win/loss records and win percentages.



大西 悠生(4年)

飛躍する選手と1年生の成長に期待。接戦に持ち込むことで自分たちのペースとなり、来季に向けては守備面の強化とレベルアップは必須だ。



ホームクロスプレー

中央:伊藤 球児(4年)

2023年度新入生 勝利に向かって全力野球!!

【投手】

Portraits and names of pitchers: 18 黒住 涼太, 19 竹中 太河, 20 酒田 和哉.

【内野手】

Portraits and names of infielders: 38 大出 祐樹, 3 山下 颯司朗, 32 松田 寛寿.

【外野手】

Portraits and names of outfielders: 43 横引 駿典, 47 榎本 優輝, 21 杉本 大輔, 23 土居 稔季, 30 弘田 凜, 46 高橋 知希.

2023年度近畿学生野球連盟春季リーグ成績表 (Scoreboard) showing results for various teams.

4年生の先輩方ありがとうございました (Thank you to seniors). Photo of a retirement ceremony at the Yonemitsu Rose Stadium.

硬式野球部の指導方針 (Hardball Team Guidance Policy). Text by 部長 合澤浩之 (President Gaisawa Hiroshi) and 総監督 竹之内雅史 (Head Coach Takeuchi Masashi).

硬式野球部 インスタグラム (Hardball Team Instagram). Includes QR code and photo of 監督 伊丹康治 (Coach Ito Yasuharu).